令和５年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

飛騨高山高等学校通信制課程

Ⅰ　自己評価

1　学校教育目標	（1）「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 （2）社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身に付けさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。		
2　スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	・豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、周囲と協働できる生徒 ・互いの人格を尊重し、周囲と交流しながら、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・郷土を愛し、地域の発展のために地域や社会に貢献できる生徒	・課題の発見・解決能力を伸長するための「主体的・探究的な学び」の面接指導を推進 ・「思考」「判断」「表現」の力を伸長し適切に評価するレポート課題の作成 ・生徒の個性や長所を伸ばすためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施	・向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・生徒会活動や学校行事及び他校との交流などに自主的に参加し、周囲とのより良い人間関係を築いていく意欲のある生徒

3　評価する領域・分野	◇　進路指導
4　現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	○ほとんどの項目において肯定的評価が増えた。 ○特に「生徒の希望に添った進路指導」では、生徒ABで＋8.8・保護者ABで＋20.7となった。今後とも、生徒の希望に添って進路指導を行っていく必要がある。 ▲「生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている。」では、アンケートの実施時期が、指定校や求人票一覧の開示前であることが影響している可能性が考えられるので、前年度の情報を参考として、早い時期に生徒に周知する必要がある。
5　今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇望ましい勤労観・職業観を形成させて、社会的自立を促進する。 ◇主体的な進路設計ができるように指導し、卒業後の進路実現を目指す。
6　重点目標を達成するための校内における組織体制	・分掌の主担当者を中心として、全職員が共通理解の上取り組む。 ・年度当初の懇談や卒業予定者への三者懇談の実施を継続する。

7　目標の達成に必要な具体的な取組	8　達成度の判断・判定基準あるいは指標
（1）　外部講師による進路講話及び職員による進路ガイダンスを実施して、生徒及び保護者の進路意識を高める。 （2）　面接指導（スクーリング）及び個別面談等を通して、自己の能力・適性や可能性に気付かせるとともに、適時に進路情報を提供する。 （3）　随時、進路相談を行って就労の実態や進路希望を把握し、学力補充・面接指導など、卒業後の進路を見据えた指導を個に応じて実施する。	（1）　生徒及び保護者を対象とするアンケート （2）生徒就業状況及び進路希望調査 （3）進路先決定状況

9　取組状況・実践内容等	10　評価視点	11　評　価
・生徒就業状況及び進路希望調査を実施して実態把握に努めた。 ・進路説明会、個別の学力補充、小論文指導、面接指導を実施した。 ・職員による進路説明会（保護者対象）及び進路ガイダンス（生徒対象）を実施した。	①生徒の実態把握と情報提供は十分にできたか。 ②個々の進路希望に応じた適切な支援ができたか。 ③進路関係についての認識が深まったか	A　(B)　C　D (A)　B　C　D (A)　B　C　D

12 成果 ・ 課題	○卒業予定者を対象に、具体的な学習指導、面接練習、志望理由書、履歴書等の支援と個別面談を繰り返し実施し成果を上げることができた。就職希望者についてハローワークとも連携して指導・支援した。 ○外部講師による進路講話及び職員による進路ガイダンスを実施し、生徒、保護者に有益な情報を提供することができた。 ▲卒業後の進路に関して「新たな一歩」を踏み出すことが難しい生徒がいる。具体的な進路目標の設定、能動的な進路決定、そして進路実現ができるように、適切な指導や対策の工夫が課題である。	総　合　評　価 Ⓐ　B　C　D

13　来年度に向けての改善方策案

・生徒の進路実現に向けて、最善の支援が行えるように、全職員の共通理解によって個々の生徒の状況や日頃の様子に注意を払い、的確な進路指導を実践する。
・飛騨通信やホームページへの掲載を通じて、保護者への進路に関する情報提供をより充実させる。
・前年度の指定校や求人票一覧の情報を参考として、早い時期に生徒に周知する。
・年度当初の懇談や卒業予定者への三者懇談の実施を継続する。

Ⅱ　学校関係者評価

実施年月日：令和６年１月２６日

【意見・要望・評価等】

・日頃から丁寧に指導をしていただき感謝している。
・学校評価アンケートの結果が低迷していても、時期の問題もある。丁寧に分析を行って適切な指導に役立てていただきたい。